

平成28年経済センサス活動調査を実施します



総務省と経済産業省は、全国の全ての事業所と企業を対象に、2016年6月1日現在で「経済センサス活動調査」を実施します。調査へのご理解・ご回答をよろしくお願いいたします。

「経済センサス活動調査」は、全産業分野の売上(収入)金額や費用などの経理項目を同一時点で幅広く把握するものです。わが国の事業所・企業の経済活動を全国的・地域別に明らかにするとともに、事業所・企業を対象とした各種統計調査の母集団情報を得ることを目的としています。

この調査は、政府が実施する統計調査の中でも特に重要な調査の一つです。正確な統計を作成するため、統計法(平成19年法律第53号)に基づいた、回答義務のある調査(基幹統計調査)として実施します。

全ての事業所が対象です

調査の対象は、下記を除く国内にある全ての事業所です。
▶調査の対象外/個人経営の農家・林家・漁家、家事サービス業、外国公務の事業所、国・地方公共団体

調査の仕組み

- 調査は「調査員による調査」と「国による直轄調査」の2つの方法で行います。
- ①調査員による調査/単独事業所・新設された事業所に調査員が訪問して調査を行います。調査書類は調査員がお配りしますので、インターネットで回答するか、紙の調査票にご記入の上、後日訪問する調査員に提出してください。
 - ②国による直轄調査/支社や支店など、複数の事業所を有する企業の本社宛てに、国が調査書類を直接郵送して調査を行います。企業や組織全体の内容とともに、事業所ごとの従業者数などについても本社などで回答していただきます。



インターネットによる回答が便利です

調査の回答には、紙の調査票による回答とインターネットを利用して回答する2つの方法がありますが、セキュリティが万全、簡単な作業、24時間いつでも対応可能なインターネットでの回答を推奨しています。調査員が調査票回収のために伺うこともなくなりますので、事業者の皆さんの煩わしさもありません。ぜひ、インターネットによる回答をご利用ください。



かたり調査にご注意ください

- 「経済センサス活動調査」を装った、不審な訪問者や話、電子メールなどにご注意ください。不審に思われた場合は、速やかに役場総務課かコールセンターなどにお知らせください。
- ▶コールセンター/受付時間 9時~20時(土・日曜日、祝日も利用できます)※5月6日(金)から利用できます。
 - 調査全般・調査票の記入の仕方 ☎0120-143-150(通話料無料)
 - 上記に接続できない場合 ☎03-4334-3150(通話料有料)
 - インターネット回答について ☎0120-671-937(通話料無料)
 - 上記に接続できない場合 ☎03-6748-1937(通話料有料)

問い合わせ先/役場総務課総務係 ☎482-2912(課直通)

あなたのアイデアで宿泊客を誘致 町民企画イベントを募集します!

一般社団法人摩周湖観光協会では、町民の皆さんが企画したイベントで、町内での宿泊者増加が見込めるものに対して、事業費の一部を助成します。ぜひ、あなたのアイデアをお寄せください。

- ▶目的/町内観光客の方が余暇を過ごせる時間を創出することで、24時間以上の滞在型観光を促進します。そのため、町民の方や町内事業者などで組織する実行委員会が企画するもので、宿泊を誘発できるとされるイベントに対して、事業費の一部を支援します。
 - ▶応募要件
 - ①町民の方が自ら企画、実行するイベントで、実行委員会を組織するもの。
 - ②町内での観光客宿泊など、経済効果が見込めるもの。
 ※プロの歌手や演奏者による歌謡ショーや、それに類似したイベントは、対象となりません。
※町から他の助成を受けている事業は、対象となりません。
 - ▶事業期間/助成決定の日から2017年2月28日(火)まで
 - ▶助成限度額/総額70万円(1件当たりではありません)
 - ▶募集件数/2件まで(募集件数内でも、審査の結果により採択されない場合もありますので、ご了承ください)
 - ▶募集期間/5月2日(月)~5月19日(木)
- 申込書類、ご不明な点など、詳しくは下記までお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ先
一般社団法人摩周湖観光協会 ☎482-2200 FAX 482-1877

アイヌの自然

エンレイソウの実

川湯の固有種として名高いカワユエンレイソウ。エンレイソウには、カワユのように白い花弁を持つものと持たないものがあります。アイヌの人たちが重要視したのは、開花後につく実です。食用としましたが、食べ過ぎると「酔っ払う」と表現したのは、部位によってこの植物が毒を持っていることと無縁ではないかもしれません。

実は種類によって形がさまざま。とりあえず、楽しみは見るだけにとどめておきましょう。



実は観賞用として楽しんで



細川さんのお話を聞いてみませんか

来る2018年は、現在の阿寒国立公園区域内にあたる市町村を歩いた松浦武四郎の調査から160年。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定に伴い、外国からも多くの観光客が訪れると見込まれる日です。

EMC通信
~川湯の森から~

総面積の約56%を本町が占めている阿寒国立公園は、2年前に指定80周年を迎え、その後も新たな歴史を刻み続けています。

わが町の自然や歴史を地域活性化の資源に

「火山」「森」「湖」と並んで、北海道ならではの「アイヌ文化」が体感できるこの場所は、国内外から人気が高まりつつあります。先日は、環境大臣が国立公園名称変更に関して前向きな意見を述べました。ますます注目される要素が満載です。そのためにも、町民の皆さん一人一人が観光大使となり、当たり前に見えぬ周辺環境を大いに自慢し、PRしていきたくものです。

当センターでは、観光資源となる自然情報の提供に努めていきます。5月22日(日)には、郷土自然史研究者・細川晋治さんを講師に迎え、自然ふれあい行事を開催。午前は座学、午後は外へ出て植物観察を行います。参加費は500円、定員は30人(先着順・事前申し込みが必要です)。詳細については、お問い合わせください。

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100

URL http://www6.marimo.or.jp/k_emc/ 8:00~17:00開館(5月の休館日11・18・25日)